

## Ⅱ アンケート調査からみた経営動向

※ 数値については、小数点第2位を四捨五入して表記しているため、DIを算出すると±0.1ポイントの範囲で差異が生じることがある。

### 1 経営者の景況感と来期の見通しについて

#### 現在の景況感

自社業界の景況について「好況である」とみる企業は5.2%、「不況である」とみる企業は46.0%で、景況感DI（「好況である」－「不況である」企業の割合）は▲40.8となった。前期（▲39.0）から1.8ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

#### 〈業種別〉

##### ○製造業

「好況である」とみる企業は5.0%、「不況である」とみる企業は52.2%で、景況感DIは▲47.3となった。前期（▲40.5）から6.8ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にDI値をみると、12業種中、「金属製品」が前期から改善し、「プラスチック製品」が前期から横ばい、それ以外の10業種は前期から悪化した。特に、「化学工業」は前期比で16.3ポイント減少し、前年同期比でも12.3ポイント減少した。

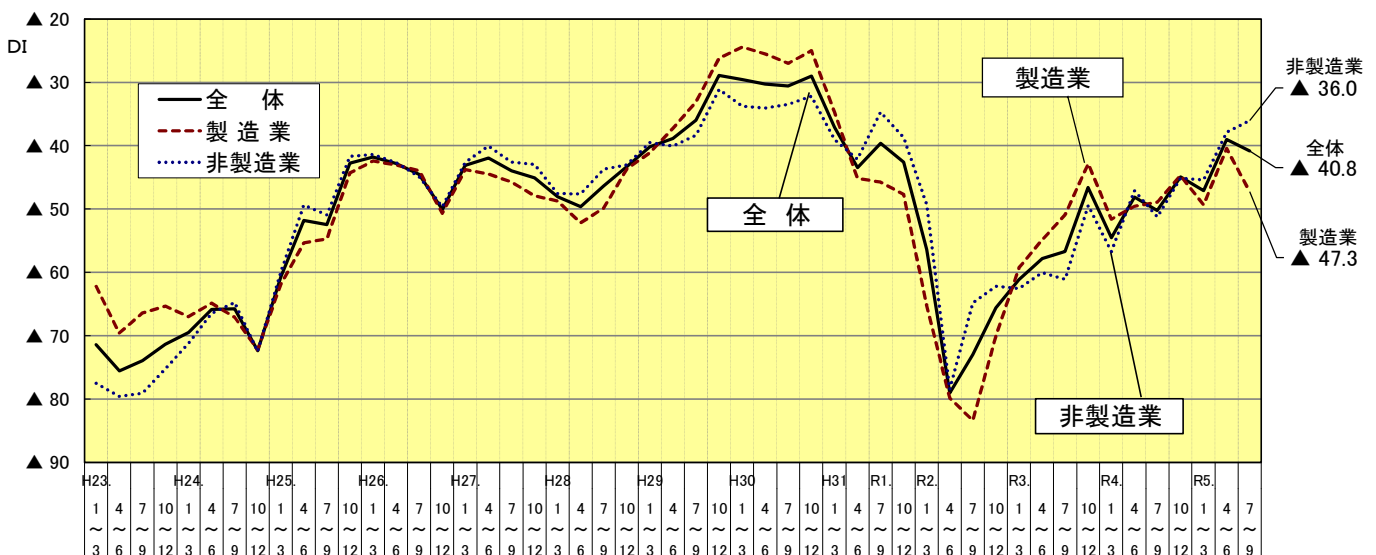
##### ○非製造業

「好況である」とみる企業は5.3%、「不況である」とみる企業は41.3%で、景況感DIは▲36.0となった。前期（▲37.9）から1.9ポイント増加し、2期連続改善した。

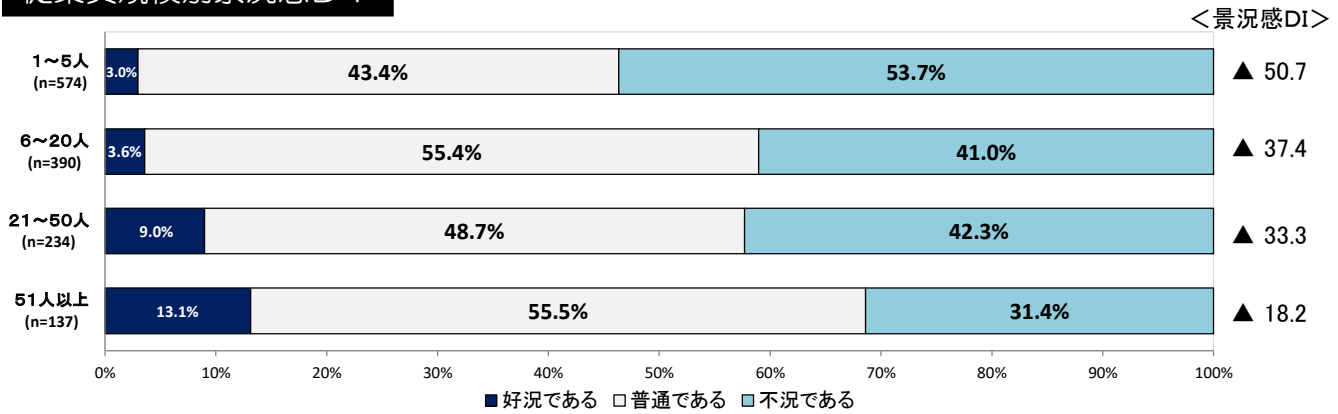
業種別にDI値をみると、7業種中、「建設業」「卸売・小売業」「不動産業」が前期から改善し、それ以外の4業種は前期から悪化した。特に、「運輸業」は前期比で14.2ポイント減少した。

#### 景況感DIの推移

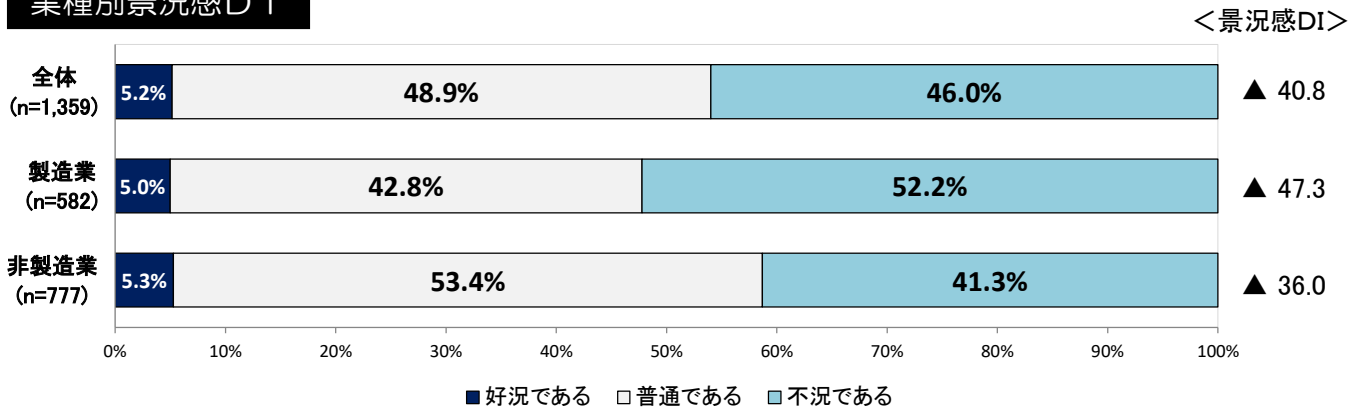
	当期DI (R5.7-9)	前期比 (R5.4-6)	前年同期比 (R4.7-9)	来期見通しDI (R5.10-12の見通し)	前期比[前回調査] (R5.7-9の見通し)
全体	▲40.8	▲1.8	+9.4	▲11.2	+0.2
製造業	▲47.3	▲6.8	+1.7	▲8.1	+2.9
非製造業	▲36.0	+1.9	+15.2	▲13.6	▲1.8



## 従業員規模別景況感DI



## 業種別景況感DI



## 来期（令和5年10~12月期）の見通し

先行きについては、「良い方向に向かう」とみる企業は10.6%（前回調査(R5.4-6月)比+0.7ポイント）、「悪い方向に向かう」とみる企業は21.8%（前回調査比+0.4ポイント）だった。先行きDIは▲11.2（前回調査比+0.2ポイント）と、3期連続改善した。

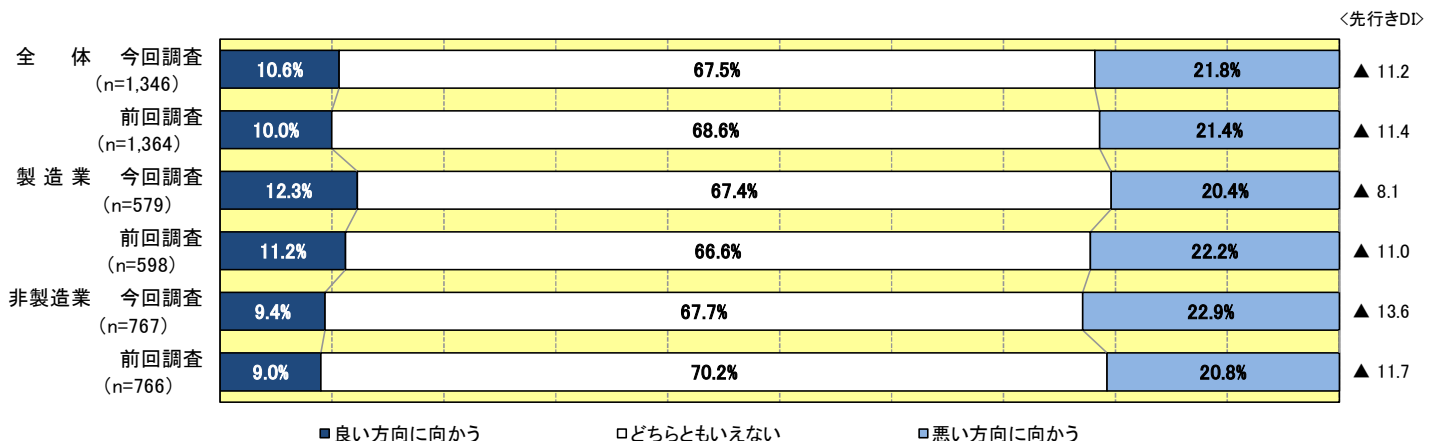
### <業種別>

○製造業 先行きDI ▲8.1（前回調査比+2.9）

「良い方向に向かう」とみる企業は12.3%、「悪い方向に向かう」とみる企業は20.4%で、「悪い方向に向かう」が前回調査より1.9ポイント減少した。

○非製造業 先行きDI ▲13.6（前回調査比▲1.8）

「良い方向に向かう」とみる企業は9.4%、「悪い方向に向かう」とみる企業は22.9%で、「悪い方向に向かう」が前回調査より2.2ポイント増加した。



## 景況感DIの推移

単位：DI

業種	R4.	R4.	R5.	R5.	R5.	増減		R5.
	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期 (当期)	前期比	前年 同期比	10～12月期 (見通し)
<b>全 体</b>	▲ 50.2	▲ 45.0	▲ 47.1	▲ 39.0	▲ 40.8	▲ 1.8	9.4	▲ 11.2
<b>製 造 業</b>	▲ 48.9	▲ 44.7	▲ 49.3	▲ 40.5	▲ 47.3	▲ 6.8	1.7	▲ 8.1
食料品製造	▲ 52.9	▲ 45.8	▲ 53.8	▲ 15.1	▲ 27.1	▲ 12.0	25.9	▲ 2.1
繊維工業	▲ 61.1	▲ 72.2	▲ 72.7	▲ 69.4	▲ 73.5	▲ 4.1	▲ 12.4	▲ 29.4
家具・装備品	▲ 60.0	▲ 53.3	▲ 43.8	▲ 63.3	▲ 65.4	▲ 2.1	▲ 5.4	▲ 12.0
パルプ・紙・紙加工品	▲ 64.8	▲ 43.6	▲ 64.0	▲ 51.1	▲ 55.1	▲ 4.0	9.7	▲ 4.1
印刷業	▲ 70.0	▲ 64.4	▲ 74.4	▲ 48.9	▲ 62.5	▲ 13.6	7.5	▲ 12.5
化学工業	▲ 29.5	▲ 38.6	▲ 50.0	▲ 25.6	▲ 41.9	▲ 16.3	▲ 12.3	0.0
プラスチック製品	▲ 44.0	▲ 44.7	▲ 49.0	▲ 49.0	▲ 49.0	0.0	▲ 5.0	▲ 18.4
鉄鋼業・非鉄金属	▲ 30.9	▲ 45.6	▲ 50.8	▲ 43.6	▲ 56.6	▲ 13.0	▲ 25.7	▲ 5.7
金属製品	▲ 48.5	▲ 33.3	▲ 33.8	▲ 35.9	▲ 34.9	1.0	13.6	▲ 3.1
電気機械器具	▲ 48.1	▲ 32.8	▲ 35.7	▲ 31.1	▲ 35.9	▲ 4.8	12.1	▲ 1.6
輸送用機械器具	▲ 42.0	▲ 39.6	▲ 37.7	▲ 24.6	▲ 35.8	▲ 11.3	6.2	▲ 5.7
一般機械器具	▲ 42.4	▲ 41.7	▲ 45.9	▲ 49.2	▲ 53.3	▲ 4.2	▲ 11.0	▲ 14.0
<b>非 製 造 業</b>	▲ 51.2	▲ 45.1	▲ 45.4	▲ 37.9	▲ 36.0	1.9	15.2	▲ 13.6
<b>建 設 業</b>	▲ 46.7	▲ 44.2	▲ 39.4	▲ 42.6	▲ 31.2	11.4	15.5	▲ 14.9
総合工事業	▲ 46.6	▲ 50.0	▲ 45.1	▲ 44.4	▲ 32.7	11.8	13.9	▲ 19.6
職別工事業	▲ 54.9	▲ 46.0	▲ 46.3	▲ 46.7	▲ 39.6	7.1	15.3	▲ 19.6
設備工事業	▲ 39.7	▲ 36.8	▲ 26.0	▲ 36.7	▲ 22.8	13.9	16.8	▲ 7.0
<b>卸 売 ・ 小 売 業</b>	▲ 58.1	▲ 54.0	▲ 52.0	▲ 48.7	▲ 45.6	3.2	12.6	▲ 18.9
(卸売業)	▲ 47.7	▲ 47.5	▲ 43.1	▲ 40.3	▲ 34.1	6.2	13.6	▲ 11.3
繊維・衣服等	▲ 57.1	▲ 80.0	▲ 52.4	▲ 64.7	▲ 25.0	39.7	32.1	▲ 20.0
飲食料品	▲ 54.2	▲ 50.0	▲ 63.3	▲ 26.9	▲ 25.0	1.9	29.2	▲ 12.5
建築材料、鉱物・金属材料等	▲ 40.0	▲ 21.4	▲ 41.9	▲ 29.0	▲ 34.4	▲ 5.3	5.6	▲ 3.1
機械器具	▲ 32.0	▲ 44.0	▲ 18.2	▲ 29.2	▲ 31.8	▲ 2.7	0.2	0.0
その他	▲ 56.7	▲ 57.1	▲ 34.6	▲ 61.5	▲ 54.2	7.4	2.5	▲ 26.1
(小売業)	▲ 67.3	▲ 59.4	▲ 60.1	▲ 55.8	▲ 55.6	0.2	11.8	▲ 25.5
織物・衣服・身の回り品	▲ 86.1	▲ 69.4	▲ 74.3	▲ 63.2	▲ 73.0	▲ 9.8	13.1	▲ 21.6
飲食料品	▲ 84.6	▲ 63.2	▲ 52.6	▲ 44.4	▲ 52.6	▲ 8.2	32.0	▲ 33.3
機械器具	▲ 37.5	▲ 53.1	▲ 55.0	▲ 50.0	▲ 51.5	▲ 1.5	▲ 14.0	▲ 21.9
その他	▲ 57.5	▲ 51.4	▲ 60.0	▲ 63.4	▲ 44.4	19.0	13.1	▲ 25.0
<b>飲 食 店</b>	▲ 65.9	▲ 55.3	▲ 45.9	▲ 31.7	▲ 37.1	▲ 5.4	28.7	▲ 22.9
<b>情 報 サ ー ビ ス 業</b>	▲ 40.4	▲ 19.2	▲ 21.6	▲ 9.8	▲ 13.8	▲ 4.0	26.6	8.8
<b>運 輸 業</b>	▲ 54.2	▲ 40.0	▲ 48.3	▲ 39.6	▲ 53.8	▲ 14.2	0.4	▲ 26.9
<b>不 動 産 業</b>	▲ 40.7	▲ 35.6	▲ 33.3	▲ 32.7	▲ 30.2	2.5	10.5	▲ 9.3
<b>サ ー ビ ス 業</b>	▲ 46.3	▲ 41.9	▲ 50.3	▲ 26.8	▲ 28.4	▲ 1.6	17.9	▲ 6.2
専門サービス業	▲ 26.1	▲ 31.9	▲ 34.1	▲ 23.4	▲ 14.0	9.4	12.1	▲ 8.0
洗濯・理美容・浴場業	▲ 66.7	▲ 63.2	▲ 75.6	▲ 52.8	▲ 51.4	1.3	15.2	▲ 11.4
その他生活関連・娯楽業	▲ 60.5	▲ 46.2	▲ 50.0	▲ 16.2	▲ 36.1	▲ 19.9	24.4	▲ 2.8
その他の事業サービス業	▲ 33.3	▲ 27.8	▲ 40.5	▲ 16.2	▲ 19.5	▲ 3.3	13.8	▲ 2.5

## 2 売上げについて

### 当期（令和5年7～9月期）の状況

前期と比べ、売上げが「増加した」企業は16.9%、「減少した」企業は34.7%で、売上げD I（「増加した」－「減少した」企業の割合）は▲17.8となった。前期（▲14.8）から3.0ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

#### <業種別>

##### ○製造業

売上げが「増加した」企業は17.2%、「減少した」企業は36.5%で、売上げD Iは▲19.4となった。前期（▲14.4）から5.0ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にD I値をみると、12業種中、「繊維工業」「鉄鋼業・非鉄金属」「電気機械器具」「一般機械器具」の4業種が前期から改善し、それ以外の8業種は前期から悪化した。特に、「印刷業」及び「化学工業」は前期比で20.9ポイント減少し、前年同期比でも「印刷業」は4.0ポイント、「化学工業」は5.0ポイント減少した。

##### ○非製造業

売上げが「増加した」企業は16.8%、「減少した」企業は33.4%で、売上げD Iは▲16.6となった。前期（▲15.1）から1.5ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にD I値をみると、7業種中、「建設業」が前期から改善し、それ以外の6業種は前期から悪化した。特に、「情報サービス業」は前期比で18.3ポイント減少した。

#### <売上げ実績>

	増えた	変わらない	減った	D I	前期比	前年同期比
全 体	16.9%	48.3%	34.7%	▲17.8	▲3.0	+11.3
製 造 業	17.2%	46.3%	36.5%	▲19.4	▲5.0	+5.8
非製造業	16.8%	49.9%	33.4%	▲16.6	▲1.5	+15.4

### 来期（令和5年10～12月期）の見通し

先行きについて、売上げが「増加する」見通しの企業は20.7%、「減少する」見通しの企業は24.6%であった。当期の売上げD I（▲17.8）と比べて、来期D Iは▲3.8（当期比+14.0）と改善する見通しである。

#### <業種別>

製造業の来期の売上D Iは▲2.8（当期比+16.6）と改善する見通しである。

非製造業の来期の売上D Iは▲4.7（当期比+12.0）と改善する見通しである。

（注）全業種の集計結果とD Iの推移は付表（P41）を御覧ください。

### 3 資金繰りについて

#### 当期（令和5年7～9月期）の状況

前期と比べ、資金繰りが「良くなった」企業は6.4%、「悪くなった」企業は28.2%で、資金繰りD I（「良くなった」－「悪くなった」企業の割合）は▲21.8となった。

前期（▲18.1）から3.7ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

#### <業種別>

##### ○製造業

資金繰りが「良くなった」企業は7.6%、「悪くなった」企業は32.0%で、資金繰りD Iは▲24.4となった。前期（▲21.7）から2.8ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にD I値をみると、12業種中、「繊維工業」「パルプ・紙・紙加工品」「鉄鋼業・非鉄金属」「電気機械器具」「輸送用機械器具」の5業種が前期から改善し、それ以外の7業種は前期から悪化した。特に、「食料品製造」は前期比で13.4ポイント減少した。

##### ○非製造業

資金繰りが「良くなった」企業は5.6%、「悪くなった」企業は25.4%で、資金繰りD Iは▲19.8となった。前期（▲15.3）から4.5ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にD I値をみると、7業種中、「建設業」「飲食店」「不動産業」の3業種が前期から改善し、それ以外の4業種は前期から悪化した。特に、「情報サービス業」は前期比で8.1ポイント減少した。

#### <資金繰り実績>

	良くなった	変わらない	悪くなった	D I	前期比	前年同期比
全体	6.4%	65.3%	28.2%	▲21.8	▲3.7	+6.3
製造業	7.6%	60.5%	32.0%	▲24.4	▲2.8	+4.8
非製造業	5.6%	69.0%	25.4%	▲19.8	▲4.5	+7.4

#### 来期（令和5年10～12月期）の見通し

先行きについて、資金繰りが「良くなる」見通しの企業は9.0%、「悪くなる」見通しの企業は21.9%であった。

当期の資金繰りD I（▲21.8）と比べて、来期D Iは▲12.8（当期比+8.9）と改善する見通しである。

#### <業種別>

製造業の来期の資金繰りD Iは▲13.4（当期比+11.0）と改善する見通しである。

非製造業の来期の資金繰りD Iは▲12.4（当期比+7.3）と改善する見通しである。

（注）全業種の集計結果とD Iの推移は付表（P42）を御覧ください。

## 4 採算について

### 当期（令和5年7～9月期）の状況

前期と比べ、採算が「良くなった」企業は8.6%、「悪くなった」企業は35.5%で、採算D I（「良くなった」－「悪くなった」企業の割合）は▲26.9となった。前期（▲26.7）から0.2ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

#### <業種別>

##### ○製造業

採算が「良くなった」企業は9.4%、「悪くなった」企業は38.1%で、採算D Iは▲28.7となった。前期（▲28.4）から0.3ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にD I値をみると、12業種中、「パルプ・紙・紙加工品」「鉄鋼業・非鉄金属」「電気機械器具」「輸送用機械器具」「一般機械器具」の5業種が前期から改善し、それ以外の7業種は悪化した。特に、「家具・装備品」は前期比で10.8ポイント減少した。

##### ○非製造業

採算が「良くなった」企業は8.1%、「悪くなった」企業は33.6%で、採算D Iは▲25.5となった。前期（▲25.4）から0.1ポイント減少し、2期ぶりに悪化した。

業種別にD I値をみると、7業種中、「建設業」「卸売・小売業」「飲食店」の3業種が前期から改善し、それ以外の4業種は悪化した。特に、「運輸業」は前期比で20.0ポイント減少し、前年同期比でも10.9ポイント減少した。

#### <採算実績>

	良くなった	変わらない	悪くなった	D I	前期比	前年同期比
全体	8.6%	55.9%	35.5%	▲26.9	▲0.2	+13.8
製造業	9.4%	52.6%	38.1%	▲28.7	▲0.3	+13.0
非製造業	8.1%	58.4%	33.6%	▲25.5	▲0.1	+14.3

### 来期（令和5年10～12月期）の見通し

先行きについて、採算が「良くなる」見通しの企業は11.4%、「悪くなる」見通しの企業は28.6%であった。

当期の採算D I（▲26.9）と比べて、来期D Iは▲17.2（当期比+9.6）と改善する見通しである。

#### <業種別>

製造業の来期の採算D Iは▲15.2（当期比+13.4）と改善する見通しである。

非製造業の来期の採算D Iは▲18.7（当期比+6.8）と改善する見通しである。

（注）全業種の集計結果とD Iの推移は付表（P43）を御覧ください。



## 5 設備投資について

### 当期（令和5年7～9月期）の状況

当期に設備投資を実施した企業は20.4%で、前期（19.8%）から0.6ポイント増加し、3期ぶりに増加した。内容をみると、「生産・販売設備（建設機械を含む）」が44.9%で最も高く、「車両・運搬具」が26.6%、「情報化機器」が21.9%と続いている。目的では、「更新、維持・補修」が63.6%で最も高く、「生産・販売能力の拡大」が33.1%、「合理化・省力化」が26.5%と続いている。

〈業種別〉 （注）設備投資実施率と設備投資の内容・目的の詳細はP11、P12を御覧ください。

#### ○製造業

設備投資を実施した企業は24.6%で、前期（25.0%）から0.4ポイント減少し、2期ぶりに減少した。また、前年同期（23.5%）から1.1ポイント増加した。

業種別にみると、12業種中、「食料品製造」「家具・装備品」「パルプ・紙・紙加工品」「印刷業」「金属製品」「輸送用機械器具」の6業種が前期から減少し、それ以外の6業種は増加した。

設備投資の内容は、「生産・販売設備（建設機械を含む）」が68.3%で最も高く、次いで、「建物（工場・店舗等を含む）」が16.2%、「車両・運搬具」が15.5%と続いている。

設備投資の目的は、「更新、維持・補修」が67.4%で最も高く、次いで、「生産・販売能力の拡大」が34.0%、「合理化・省力化」が29.1%と続いている。

#### ○非製造業

設備投資を実施した企業は17.3%で、前期（15.7%）から1.6ポイント増加し、2期ぶりに増加した。また、前年同期（17.9%）から0.7ポイント減少した。

業種別にみると、7業種中、「飲食店」「情報サービス業」「サービス業」の3業種が前期から減少し、それ以外の4業種は増加した。

設備投資の内容は、「車両・運搬具」が38.6%で最も高く、次いで、「情報化機器」が29.5%、「生産・販売設備（建設機械を含む）」が19.7%と続いている。

設備投資の目的は、「更新、維持・補修」が59.5%で最も高く、次いで、「生産・販売能力の拡大」が32.1%、「合理化・省力化」が23.7%と続いている。

#### 〈設備投資実施率〉

	実施した	実施しなかった	前期比	前年同期比
全 体	20.4%	79.6%	+0.6	+0.1
製 造 業	24.6%	75.4%	▲0.4	+1.1
非製造業	17.3%	82.7%	+1.6	▲0.7

## 来期（令和5年10～12月期）の見通し

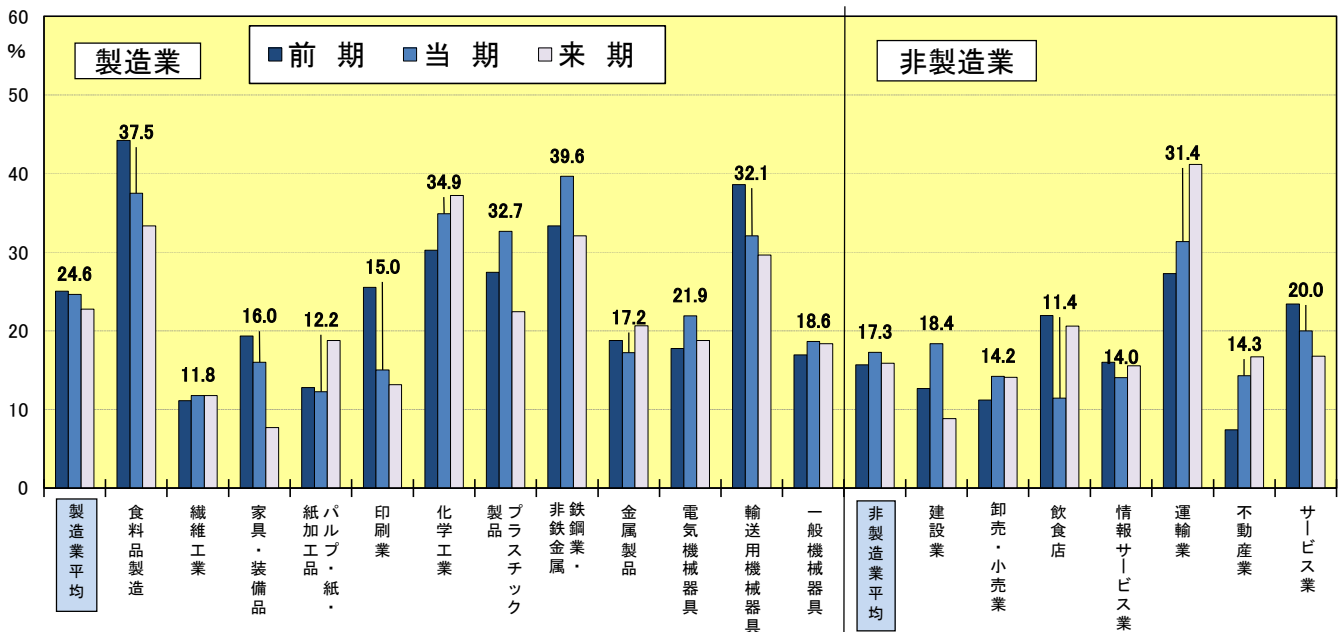
来期に設備投資を実施する予定の企業は18.8%で、  
当期（20.4%）から1.6ポイント減少する見通しである。

### <業種別>

設備投資を予定している企業は製造業で22.8%、非製造業で15.9%となっている。  
当期に比べ、製造業、非製造業ともに減少する見通しである。

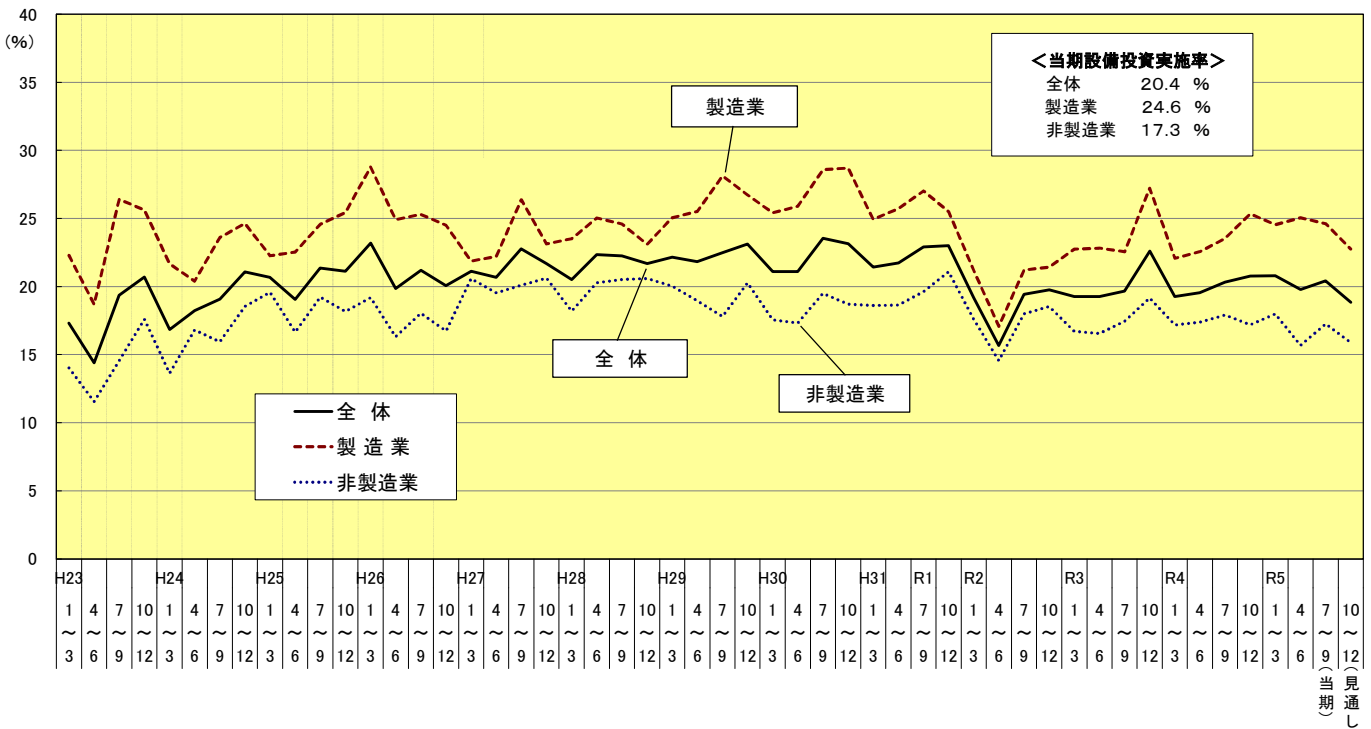
(注)業種別設備投資実施率の推移は付表(P44)を御覧ください。

### 業種別・設備投資実施率



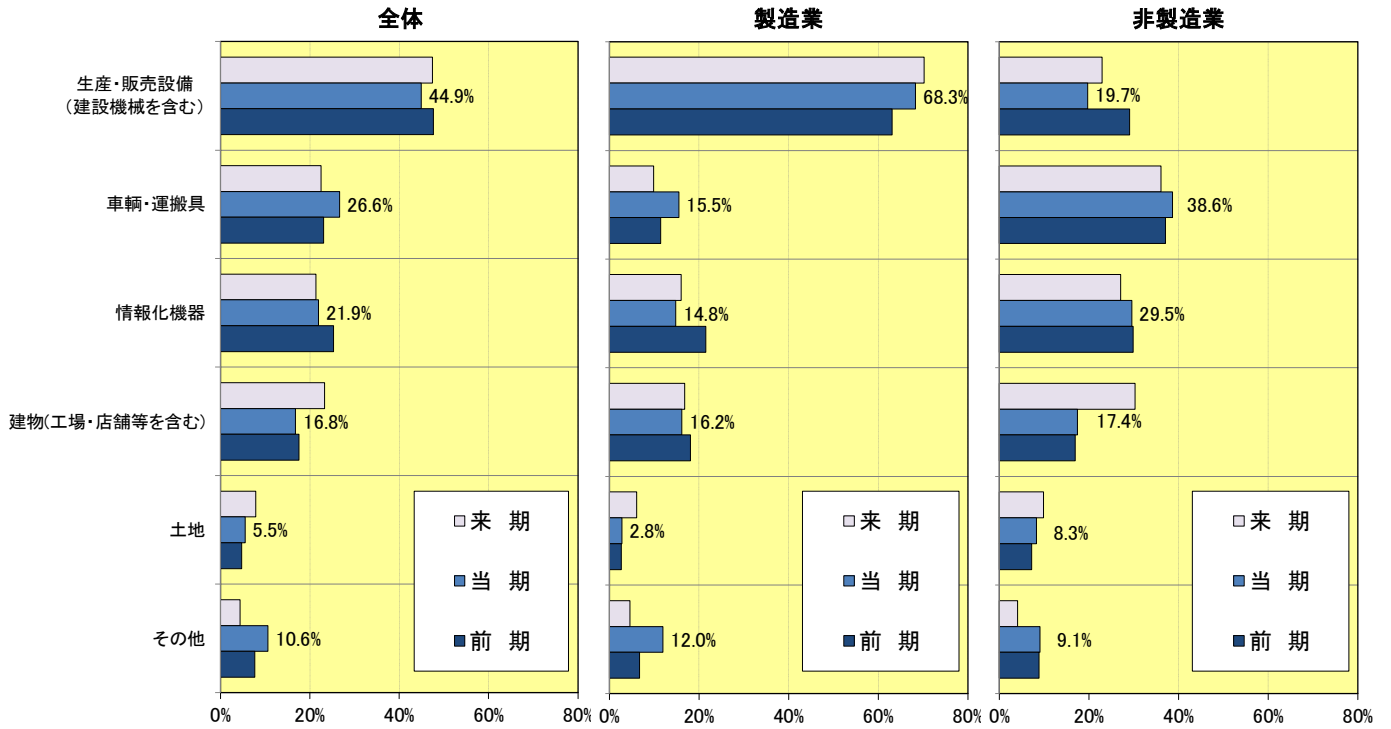
※数値は当期の実施率。

### 設備投資実施率の推移



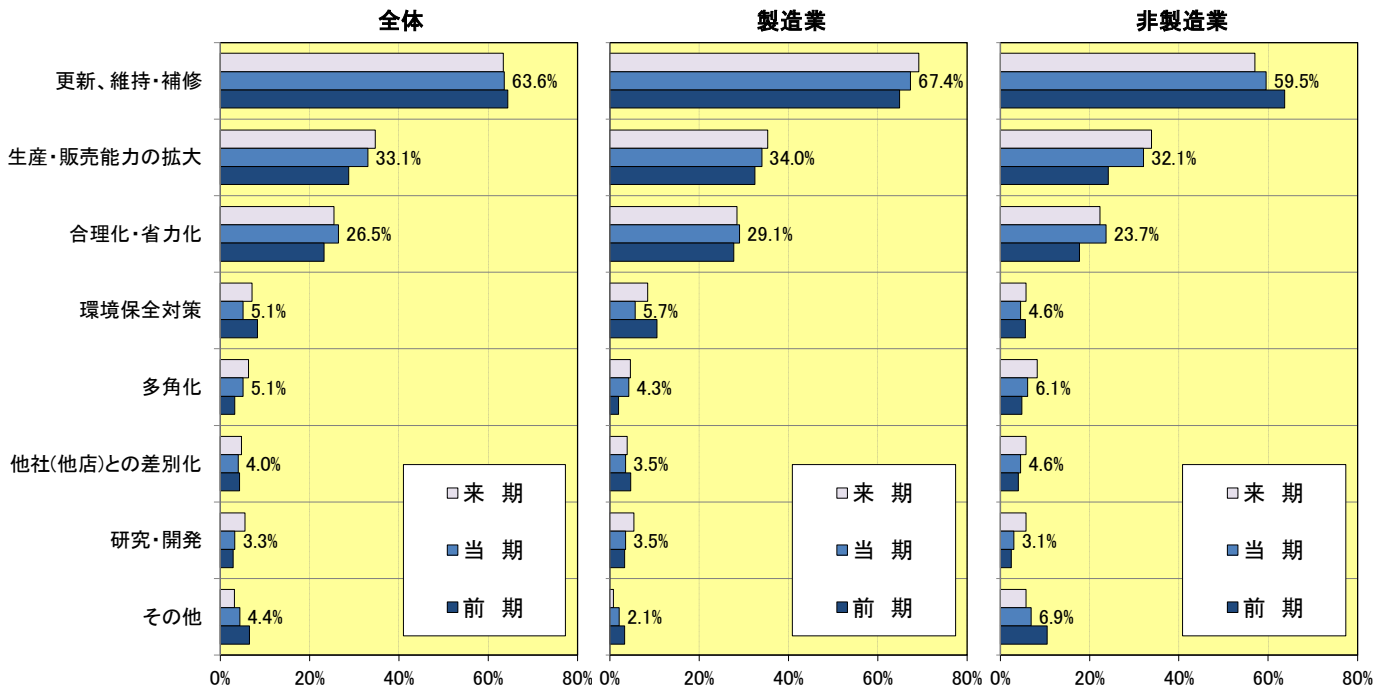


## 設備投資の内容【複数回答】



※数値は当期の実施率。

## 設備投資の目的【複数回答】



※数値は当期の実施率。